

平成 29 年度 第 2 回「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議議事録

【日 時】平成 29 年 7 月 20 日（木）18 時～19 時 08 分

【場 所】皇學館大学 9 号館 1 階 小会議室

【出席者】（鳥羽市）山本企画経営室長（玉城町）中川総合戦略課係長（大紀町）田中企画調整課長
（南伊勢町）山本誠樹係長（明和町）朝倉防災企画課企画担当係長
（大学）齋藤教授、筒井教授、笠原教授、板井准教授、近藤准教授、千田准教授、池山助教、
木村企画部長、森企画部地域連携推進室課長、梅川地域連携推進室員
*欠席 （伊勢市）辻企画調整課長（志摩市）澤村総合政策課長（度会町）中井政策調整課長
（三重銀総研）伊藤専務取締役（大学）櫻井教授

【議 題】

1. 第 3 回本事業取組内容公表シンポジウム

齋藤教授および板井准教授より配布資料をもとに説明がなされた。

- ・ 9 月 10 日（日）13：30～開催。 会場：皇學館大学 記念館（会場内配置図は資料参照）
- ・ 第 1 回目、2 回目の同じ組み立てとなっているが、今年度は特にシンポジウムの部分で学生たちが参画して進めて行きたい。
- ・ 登壇者に CLL 活動など実際の地域活動に参加している学生、圏域出身学生 8 名を加える予定。地域の課題を解決することに自分たちの活動がどう繋がっているか、一歩進めた形でセッションできればと考えている。
- ・ ファシリテーターには「皇學館みらい対話団」の学生にも入ってもらおう。少しずつ学生主導という方向へ変化させていきたい。

【市町様への依頼事項】

- ・ 市町若手職員もしくは地域おこし協力隊員 8 名の登壇を予定しており、いずれかの方のご推薦をお願いしたい。（締切：8 月 10 日（木）。改めてメールにてご案内）

（Q1）若手職員とは？ 年齢制限のようなものはあるか？

（A1）特に厳密なものはない。

（Q2）昨年度の第 3 部「パネル交流会」で、パネル等を見ていただく機会が少なかった気がする。改善できる点があれば、ぜひともお願いしたい。

（A2）ご意見ありがとうございます。昨年度の反省事項でもあるので改善を検討したい。

（Q3）これまでの第 1 回、2 回の内容をどのようにいかされるのか？

（A3）1 回目、2 回目で「課題が何か」ということをご登壇いただいた方と一緒にディスカッションさせていただき、ある程度把握できたので、それらを踏まえ、現在取組んでいる活動が課題を解決することに活かされているのかを学生あるいは市町の方たちと一緒に議論させていただきたいと考えている。そのため 1 つのきっかけとして、伊勢志摩みらいづくり調査の結果報告をシンポジウムで行いたいと考えて

いる。調査結果の中から、少し特徴的な結果となった設問について自身の活動経験からどのように思うかアンケートの量的調査結果に対し、質的な検討ができればと考えている。

取り上げる設問は現在検討中であるが、確定次第、登壇者の方々と事前に共有させていただきたい。

審議の結果、異議なく了承された。

2. 平成 29 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目Ⅱ・Ⅲ準備状況について

齋藤教授より配布資料をもとに説明がなされた。

- ・9月の終わりに再度履修登録・変更期間があるので、若干の増減があるかと思われるが、現時点（7/18）での履修登録者数は科目Ⅱ：117名、科目Ⅲ：58名である。

審議の結果、異議なく了承された。

3. COC+「地方創生人材データバンク」調査に関して

齋藤教授より配布資料をもとに説明がなされた。

- ・県内の高等教育機関で組織するCOC+から、「地方創生人材データバンク」を構築したいということで依頼がきたもの。例えば、本学では共生学Ⅰ・Ⅱの授業で各市町職員の方々にお越しいただき、お話いただいているが、その方々に広く三重県内全般においてもお話いただく機会を設けたいというのがCOC+の考え方。

ただし、

- (1) 登録していただける方があれば、お願いしたい。
- (2) 実際に県内の13高等教育機関から依頼があった場合に、皇學館の依頼ということではなく、各高等教育機関とのご関係で講師派遣についてご対応いただくようお願いしたい。

(笠原教授から補足説明)

- ・県内の高等教育機関の中で、地方創生についてご講義いただける人材が少ないということで、本学の共生学の授業等でお話いただいた自治体の職員様、首長様を含め登録いただき、他大学においても地方創生への取組についてご講演、ご説明いただける人材バンクを作りたいというもの。登録したからといって、必ずご出講いただくものではない。是非積極的にご登録をいただきたい。(三重大学では津市長が登録されているとのこと)
- ・本学で取り纏めるため(笠原教授)、学内締切を8月24日(木)とさせていただきたい。

(Q1) 人材バンクの運用方法は？三重大学でデータ管理をするということだが、13高等教育機関が共有して閲覧できる状態なのか？それとも各高等教育機関が三重大学へ申込み、それに応じて紹介されるのか？

(A1) 基本的には高等教育機関で共有し、講師依頼していく形。ただし、現時点ではひとまず登録いただき、そこから先の運用等については今後、検討という状況。

(Q2) 個人情報の管理は？また、謝礼等については？

(A2) 個人情報(講師派遣依頼の仕方など)、謝礼は再度確認。懸念のある場合は登録を控えていただければと考える。

審議の結果、異議なく了承された。

4. 『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムの行政チャンネルを利用した配信について

齋藤教授より説明がなされた。

- ・今年度は、2番組および特別番組を制作予定。制作完了次第、放映についてはご相談させていただく。
- ・秋学期の伊勢市授業回の番組は春学期の玉城町授業回の番組スタイルを踏襲する形で制作。

＜今後のスケジュール＞

- ・8/3（木）玉城町担当者、制作会社と打合せ予定。可能であれば、8月中に学内で収録予定。
- ・20分程度の番組で、春学期にご出講いただいた教育委員会職員、総合戦略課 中川様に出演いただく予定。

審議の結果、異議なく了解された。

5. 『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目Ⅲ・Ⅳの事後学修教材を MediaDEPO を使って学内ホームページに公開し、学生が閲覧できる体制の構築について

齋藤教授より説明がなされた。

- ・パワーポイントのノートに書き込んだ文章をソフトが自動的に音声を生じて読み上げるもので、視聴管理も可能。（→科目Ⅳ事後学修教材デモ）
- ・科目Ⅲ・Ⅳ社会人履修生が業務の都合等で欠席した場合に、補完の材料として用意しているもの。履修されている社会人の方には今後アカウントを発行し、受講していただけるようにする予定。

審議の結果、異議なく了解された。

6. その他

特になし。

【報告】

1. 文部科学省統一指標フォローアップアンケート結果について

齋藤教授より配布資料をもとに説明および報告がなされた。

- ・H28年度のCOC事業について、アンケートを取ったもの。

（学部学生アンケート）

・設問9、10（「伊勢志摩定住自立圏共生学」科目Ⅰ～Ⅳの履修登録状況）について

→1 科目履修登録した学生が最も多かったが、複数科目受講している学生も数%いる。また、なぜ受講したのかと言う問いに対して、「地域の現状や課題を知りたいと考えたから」、「三重県は自分の出身県であり、卒業後も地域に定住するつもりであるから」という回答が多く、定住を意識した教育プログラムとしては肯定的なアンケート結果となったと捉えている。

（教職員アンケート）

・大学が「地域のための大学として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っているか」→「知らない」と回答した教職員がそれぞれ2%程度いたので、この点は徹底して周知して行く必要があると

考えている。

(自治体の代表者アンケート)

・設問3について

→大いに満足 36%、満足 63%だったので、今後努力して、より「大いに満足」の割合と高めて参りたい。

異議なく了解された。

2. 平成 29 年度自己点検・評価委員会及び外部評価委員会(6 月)報告

齋藤教授より配布資料をもとに説明および報告がなされた。

- ・全体を通して、肯定的なご意見をいただいた。
- ・毎回特に外部評価委員の先生方からは市町様と連携が密に取られていることについて、敬意を表すると言うようなご意見をいただいている。是非、今後もこの連携を続けさせていただけるとありがたいと考えている。

異議なく了解された。

3. 平成 29 年度 CLL 活動進捗状況

齋藤教授より配布資料をもとに説明および報告がなされた。

- ・今年度目標としている活動数は達成できる見込み。
- ・それぞれの自治体様の方で、学生たちを参画させていただける取組等あればご紹介をお願いしたい。

異議なく了解された。

4. 平成 29 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目 I・IV、「伊勢志摩共生学実習(地域インターンシップ)」A～D実施状況について

齋藤教授より報告がなされた。

- ・科目 I、IV 残り 1 回の授業。
- ・共生学実習：それぞれの担当者による学生の指導も含め、順調に進んでいるところ。

異議なく了解された。

5. 平成 29 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』の副専攻履修登録者(2 年次学科別)数について

齋藤教授より報告がなされた。

- ・登録者数 39 名(国文学科最多 22 名)

異議なく了解された。

6. みらいづくり調査

筒井教授より配布資料をもとに説明および報告がなされた。

・市町別集計結果については、400 ページ程度の冊子体を現在作成中（印刷中）で、出来次第お届けしたい。あわせて pdf 版も準備中。

・三重県南部地域活性化局によるアンケート調査結果との比較

①調査対象学年、地域が異なる（高校2年—高校3年、南部地域13市町—伊勢志摩定住自立圏）

②調査結果は似た傾向を示す。

→「居住地への愛着」（三重県）、「住み易さ」（大学）への肯定的評価の数値は両調査ともほぼ同じ

→愛着が高いほど「住み続けたい」と考え、好きではない、住みにくいと答えた人ほど、「外へ出て行きたい」と考えている。

（板井准教授補足）

・冊子は9月より早く完成する見込み。市町および教育委員会へはデータとしてご報告させていただきたい。

異議なく了解された。

7. COC+関連として

齋藤教授より報告がなされた。

（1）COC+シンポジウム開催 平成29年11月26日（日）@三重大学

・基調講演：高知大学地域連携推進センター長 受田 浩之 氏

（2）自然環境リテラシー学アウトドア実習 （配布資料参照）

・9月実施（三重大学生物資源学部 坂本教授）

・本学においても実習系科目やCLL活動としたいが、活動地域が紀北方面ということで、伊勢志摩定住自立圏と重なる部分がない為、今回は学生への案内として進めている。三重大学でも来年度以降、単位化していく見込みと聞いている。

異議なく了解された。

8. その他

齋藤教授および板井准教授より報告がなされた。

（1）「GIS day in 2017」 （配布資料参照）

・平成29年9月20日（水） 10：30～17：00 @皇學館大学

・教育開発センター共催。本イベントの周知にご協力をお願いしたい。

（2）平成30年度 課題発見・解決型人材選考入学準備プログラム （配布資料参照）

・本年度からAO入試に「課題発見・解決型人材選考」が設けられた。この選考に合格した全学部全学科の入学予定者を対象に入学準備プログラムを実施。実際に活動を行い、それについて自らにとってどのような意義があったのか述べるレポートを提出させるもの。

（3）平成30年度「履修証明プログラム」の科目構成について

・本来昨年度準備し、今年度から実施しなければならなかったが、1年遅れで、今年度準備、来年度開講するも

の。

異議なく了解された。

* 次回日程

次回（H29年度 第3回）運営会議は、

平成29年11月9日(木)18時～ 皇學館大学 9号館 1F（911）にて開催されることが確認された。

以上